



平成28年度事業計画

◎国内事業

- ・東日本大震災支援継続
- ・災害時における支援
- ・青少年育成事業継続
- ・「ボランティア便り」の発行・配布
- ・福祉事業推進

◎インド事業

- ・エル・エンジェルチャイルドホーム 運営継続
- ・孤児3名招聘
(5月10～16日)

◎ネパール事業

- ・学校支援継続

皆様の善意に支えられてのボランティアです。ご協力お願い致します。

欲望を手放し 奉仕する手に受け取るのは
至福という永遠の幸せである。

☆ 熊本県で震度7の地震

4月14日 午後9時26分頃熊本県益城町で震度7の地震発生。熊本市でも震度6弱などの地震がありました。

その後余震とみられる震度6弱の強い地震、また本震と地震が続き大規模な土砂崩れも発生。阿蘇大橋(全長約200メートル)が崩落。阿蘇山の小規模な噴火と

次々に災害が起こりました。大分県でも震度6弱の地震がありました。

その後何百回にも及ぶ震度3・4・5の地震が続き、一か月経った現在死者49名、不明者1名震災関連の死の疑い19名、建物損壊8万2千棟超、長引く避難生活、先が見えない不安に心身共に深い疲れが蓄積していると思えます。

☆ 理事会・総会を終えて

新年度を迎え、5月21日に理事会・総会を開催いたしました。昨年度の事業報告並び平成28年度の事業計画を議題として話し合いました。結果、27年度の収支・会計は正しく行われており、事業活動も円滑に行われているとの承認を得、次、28年度の事業計画・予算について話し合い貴重な意見をいただくことが出来ました。出席者全員の了承を得、今年度は左記の計画をもってボランティアを推進して参る所存です。今後とも、ご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



毎日新聞より



日本経済新聞より

4月17日皆様に義援金のお願いを緊急で出させていただきました。たくさんの方からすぐに義援金を賜りました。意義ある支援をさせていただきます。今回の地震による被害を受けられた地域の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

☆ 青少年育成支援

日本の経済格差が呼ばれている昨今、特に子どもの貧困が先進国の中で三位に位置されている事に、驚いています。辛うじて給食で食事をまかなっている子、学びたくても学べない子の現実に心痛めていた矢先に、ボランティア仲間の方のKさんの塾支援の申し出があり資金の協力をさせていただくことは基より、あれや、これやお手伝いの夢を膨らませ模索しているところ。個人情報開示が難しい昨今、いろいろ難しいこともあるかと思いますが、是非実現に向けて進めていきたいと思えます。皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

神奈川県厚木市の無料学習塾
てんわ:080-5499-4227(留守電にお願いします)
めーる:nekonote@zd5.so-net.ne.jp

ねこの手



ホームページも
ご覧ください

☆ 東日本大震災支援

○ Tくんへの誕生日プレゼント

ツナミで孤児となったT君10歳のお誕生日。男の子の好みは難しく、育てていただいている叔母さんに電話して、何を欲しがっているのかお聞きしました。クリスマスプレゼントのお礼と共に、「ゲームが大好き、DVDを見るのも好きで、スターウォーズの映画を見に行ったらとっても気に入って、特にライトセーバー（光る剣のおもちや）を欲しがっている」とのこと。「ライトセーバー」と「ドラえもん」の日本歴史漫画3冊セット」とチョコレートを寄せ書きのバスディーカードと共にプレゼントしました。女の子2人の我が子と共に、やんちゃ盛りの男の子を育てる気苦労を考えると、頭が下がります。



お誕生日プレゼント

○ Sくんへの誕生日プレゼント

遺児となったS君13才のお誕生日。お父様に電話したら「クリ

スマスに送ってもらったパーカーが気に入って良く着ています。サッカーをやっててぐんぐん大きくなっていて、何がほしいかわからないから本人に聞いてみます」とのこと。再度連絡すると「サイドバックが小さくポロポロになったから、大きなサイドバックを」とのことでした。ナイキのサイドバックとサッカー用のソックスとスポーツタオルもブランド品を揃え購入し贈りました。

☆ インド孤児招聘

○ 準備

子どもたちの来日に向け、昨年末から日程の計画、何を学び楽しんでもらうか検討し手配しました。

雪山では、インドとの気温差が心配され、ダウンジャケットや防寒ズボン、インドでは使わない物ゆえ、購入するのではなく、ボランティアから借りることにしました。

宿泊は一月末に予約、早割で宿泊代を節約できました。

リュック・シオルダーバック・カメラ・腕時計・傘など昨年同様に準備、安くて品物の良い物を購入できました。子ども達へのお土産の他に、ホームでお世話してくださる職員の方にも準備しました。

子ども達の笑顔を思い浮かべながら品物を選ぶ時や、皆さまの善意が形に変わり、子ども達の笑顔に変わ

る瞬間に立ち会わせていただける喜びを感謝致します。

※ 当会ではボランティアにご参加

くださるみな様の宿泊、交通、入園料、食事代等、全て自己負担となっておりますのにこの度も又、沢山の方のご参加を頂きました。Eさんは、準備はじめ七日間全ての日程にご参加くださり宿泊。女の子も達と寝室も共に過ごして下さいました。

皆様のお心に感謝申し上げます。

○ 喜びの再会

5月10日孤児3名、引率1名が関西空港に無事到着しました。会長らに迎えられ広島に向かいました。広島では大勢のボランティアさんが出迎えて下さり、ガンガラジュ君・アヌシャさん、ギータさん、懐かしい顔が大きくなっての再会で嬉しさ一杯です。おりしも雨でしたが、その日のうちに原爆資料館を見学しました。平和公園では地元のボランティア

イアさんが丁寧の説明して下さい、戦争の悲惨さ、その後の力強い復興、平和の有難さなど感じてくれたものと思います。



自己紹介

それから千羽鶴を奉納しました。千羽鶴は子ども達の来日が決まった時から広島ボランティアの方々を心を入れて折って下さったものです。夜には歓迎パーティーで大勢の皆様が集まり、子ども達は自分達を支えて下さる大勢のボランティアさんがあることを改めて感じてくれたことと思います。挨拶で当協会に対し感謝の言葉を述べました。



平和記念公園にて



テーブルいっぱいのごちそう

まごころの歓迎

インド孤児支援を多くの方に
ご賛同頂き、昨年続き今年も
来日しました。
閑空に着き一番に広島
の歓迎を受けました。

広島ボランティアさんがい
ちがんと子ども達を歓迎す
る為にきめ細かな計画を
立てて下さっていました。

お一人、お一人が歓迎大使
だと思ふ程にボランティア
の私達が嬉しくなる程に
心こもった歓迎でした。

広島の皆様より子ども達
が頂いたプレゼントは千羽
鶴の再生紙で作ったノート
やメモ帳や綺麗な絵と英語
の原爆のマンガ本でした。

ひとつひとつに心を感じ、
嬉しいプレゼントだと思
いました。

夜開いて下さったテーブル
一杯の料理が並んだ歓迎会
で子ども達は自己紹介をし
、招聘の感謝を述べました。

親のいないつらさははかり
知れないと思います。でも
こうしてエル・エンジェル
の大勢の支えがあつて、
今恵まれた環境だと思
うことを改めて感じている
こと、と思います。

☆お礼

○熊本地震お見舞い

4月14日に起きた熊本地震に
対しましてすぐに緊急で皆様に義
援金をお願いを出させていた
だきました。早速に大勢の皆
様より、たくさん義援金をお
寄せ頂きました。

当ボランティア協会に日頃より
協力いただいている熊本在住
の方々がおられ、その中で家
が倒壊する等の被害に遭われ
た方々にご本人様へ直接義
援金を送らせて頂きました。
「これほどまでに頂きたい
だ」と、とても喜んで頂き
早速にお礼の言葉をいただき
ました。

熊本県・大分県にも義援金
を送らせていただきました。
皆様には心より厚くお礼申
上げます。

○進和学園様より寄付金を戴く

進和学園本人自治会様より
平塚市役所で3月29日に寄
附金を戴きました。

ご寄附頂いて出来たエル・
エンジェル校進和ライブラ
リーで子ども達は本に興
味を持ち知識が広がって
いると思います。長年に
わたるご支援に心より深く
感謝申し上げます。

○ “共に助け合いたい”それが私たちの願いです。ご協力、よろしくお願ひいたします。

○ 支援金振込先 郵便口座 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
記号 10290 口座番号 68107191
ゆうちょ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル
店名 (028) 店番 (028) 普通預金 口座番号 6810719
三菱東京UFJ銀行 口座名 特定非営利活動法人エル・エンジェル国際ボランティア協会
海老名支店(409) 普通預金 口座番号 0966597

☆支える会

○報告とお礼

ハガキ・切手等々皆様からご寄付を頂
きました。三月までの一年間で合計金額は
8,901円になりました。
活動資金に使わせていただきます。

ありがとうございます。
今後も引き続き、商品券、ビール券、ク
オカード、旅行券、図書カード、など集
めていきます。

ご協力、宜しくお願ひいたします。
○愛のともしび運動

町田市の小学校で、鉛筆販売を致しま
した。

○秋のバザー

子どものクジをやりますので、妖怪ウ
オッチや本の付録など子どもの喜びそ
うなものを集めています。
宜しくお願ひ致します。

○編集後記

熊本地震に心が痛み、インド子ども達
の来日に心が喜び、痛みと喜びがいつ
りきたりの心でした。
ひとつ、ひとつ心を寄せることを思
いました。

子ども達はもりだくさんに楽しみ、元
気に帰りました。

熊本地震、インド孤児の来日、皆様よ
り多くのお心を頂き深く感謝申し上げ
ます。